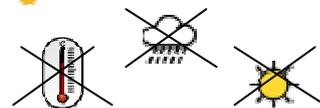


薬の豆知識

Vol. 17 薬の保管方法

今回は飲み忘れなどで余ってきてしまった薬の保管方法や注意点についてふれていきたいと思っています。

個々の薬により、保管方法は異なりますがほとんどの薬は“気温の高い所”“湿気の多い所”“太陽の光の当たる所”が苦手です。以上の3点に加えて気温の変化の少ない所に保管するのが理想的です。気密性の高い缶やプラスチック容器にいれておくと良いでしょう、乾燥剤などを利用すると更に効果的だと思います。



薬によっては開封前には室内の保管が可能でも、開封後は冷蔵庫での保管が必要になるものもありますので注意が必要になります。目薬のなかには大変日光の光を嫌う物もあります、当薬局では専用の光を遮る袋に入れてお渡ししています。透明な袋のようでも光を遮る袋もありますので、目薬は買った時の袋に入れて保管するようにしてください。

他に保管上の注意点としては、薬の外箱や袋、説明書などはすぐに捨てず、薬を使い切るまで保管しておきましょう。薬の袋にも調剤年月日、薬の飲み方、保管方法が書いてありますので捨てずに保管しましょう。特に開封した薬は変質しやすいので、開けた日を書いておくと便利です。

これから年末になりますので、薬箱の中を整理してみたいと思います。整理するともしかしたら、使用期限が切れている薬や、買った時と色が変わってしまった薬、何に聞く薬なのかわからない、そんな薬が出てくるかもしれません。匂いや色が変わってしまった薬は使用せずに破棄してください。何に効く薬かわからない時は当薬局へお気軽にお電話ください。



薬箱の整理で、飲み忘れて余った薬が沢山でてきましたら、先生や当薬局の薬剤師に相談してみてください。薬の処方の日数を調整したり、処方を一時お休みしたりして、飲み忘れてしまった薬を有効に利用できるかもしれません。参考までに現在日本では年間約500億円の薬が飲まれずに無駄となっています。年々増加していく医療費の抑制にもなりますのでよろしくお願いします。

何かご質問等ございましたら、いつでもお気軽にご相談下さい。

